

## JAZZ の黄金時代 4

# ウエストコースト・ジャズ



担当 鈴木道郎

ウエストコースト・ジャズ (West Coast Jazz) は、1950年代にロサンゼルスを中心とする、アメリカ西海岸一帯で演奏されていたジャズの総称である。西海岸のジャズメンの多くは、正統な音楽教育を受けた白人演奏家であり、明るく健康的でアレンジを多用、アドリブがメロディアスな事の特徴としている。今回は、ウエストコースト・ジャズの代表的な曲をLPで紹介する。

### ■ Art Pepper /アート・ペッパー

#### 1. You'd be so nice to come home to 4:25

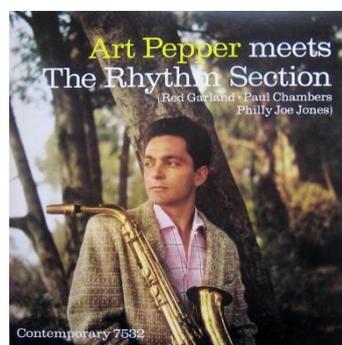
Meets the Rhythm Section (Contemporary, 1957)

ART PEPPER(as)RED GARLAND (p)PAUL CHAMBERS (b)

PHILLY JOE JONES (ds)

マイルス・デイヴィスのサイドマンたちを相手に、臨時編成のバンドとは思えない、完成された演奏を見せている。

<https://www.youtube.com/watch?v=FcG6ZHaH5RY>



### ■ Chet Baker /チェット・ベイカー

#### 2. If You Could See Me Now 5:18

CHET (RIVERSIDE NYC Dec. 30, 1958 and Jan. 19, 1959)

Chet Baker(tp) Pepper Adams(bs) Herbie Mann(fl) Kenny Burrell(g)

Bill Evans(p) Paul Chambers(b) Connie Kay , Philly Joe Jones(ds)

ビル・エバンスの参加した、しっとりとしたバラード集

<https://www.youtube.com/watch?v=PDpPqw8EKwE>



### ■ Hampton Hawes /ハンプトン ホーズ

#### 3. I Got Rhythm 3:18

Hampton Hawes Trio Vol.1 (Contemporary 1955)

Hampton Hawes (p) Red Mitchell (b) Chuck Thompson

(ds)

小気味良いスウィングピアノトリオ傑作盤

<https://www.youtube.com/watch?v=B7eTDzFpF1IDon>



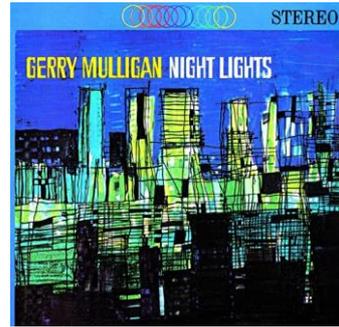
■ Gerry Mulligan/ジェリー・マリガン

4. Prelude in E Minor 4:16

NIGHT LIGHTS (PHILIPS 1963)

Gerry Mulligan (bs) Art Farmer (tp) Bob Brookmeyer (tb) Jim Hall (g)  
Bill Crow (b) Dave Baily (ds)

ロマンティックでムーディーな作品。アート・ファーマーの  
リリカルなトランペットもマリガンの作法に美しく調和して  
います。 <https://www.youtube.com/watch?v=v3Jj3BgW-Ks>



■ Bud Shank /バド・シャンク

5. Theme 3:58

*The Bud Shank Quartet Featuring Claude Williamson*  
(Pacific Jazz 1957)

Bud Shank (al) Claude Williamson (p)  
Don Prell (b) Chuck Flores (dr)

アルトとフルートを使い分けたサウンドは明るく爽やかで傑出  
したインプロバイザー。共演のクロード・ウィリアムソンの歯切れ良いタッチのピアノズ  
ムも躍動感にあふれている。 <https://www.youtube.com/watch?v=iYTUtp2dr5o>



■ Shelly Manne/シェリー・マン

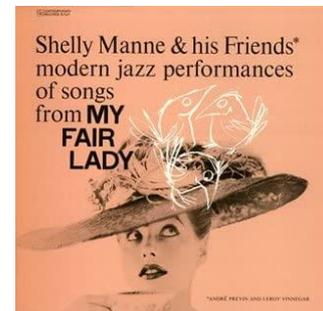
6. Get Me to the Church on Time 4:13

*My Fair Lady* (Contemporary 1956)

Shelly Manne (ds), André Previn (p), Leroy Vinnegar (b)

アンドレプレヴィンのピアノに寄り添う「タイトで乾いたビート」  
が特徴のシェリーマンのドラムがいい

<https://www.youtube.com/watch?v=NQt4goBD-o>



■ Paul Desmond /ポール・デズモンド

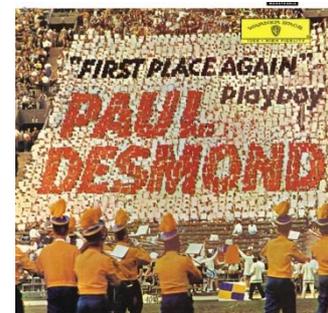
7. I Get a Kick Out of You 8:38

FIRST PLACE AGAIN (Warner Bros 1959)

Paul Desmond (as), Jim Hall (g), Percy Heath (b), Connie  
Kay (ds)

アルト・サクスの名手=ポール・デズモンドがギター、ジ  
ム・ホールとMJQのリズム陣と繰り広げた名盤

[https://www.youtube.com/watch?v=03\\_GtIkX4e8](https://www.youtube.com/watch?v=03_GtIkX4e8)



■ Chet Baker & Art Pepper

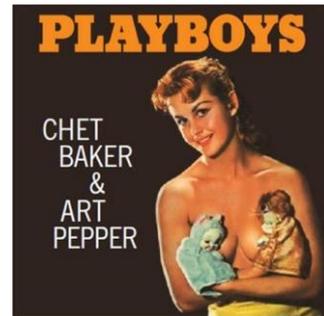
8. Resonant Emotions 5:44

Playboys (Pacific JAZZ 1956)

Chet Baker(tp), Art Pepper(as), Curtis Counce(b), Lawrence Marable(ds), Carl Perkins(p), Phil Urso(ts), Chet Baker(tp)

ジャケットも最高なパシフィック・ジャズを代表する名盤。

フィル・アーツを含めた白人フロント3管セクステット でバックはカール・パーキンス等全員が黒人プレイヤーであることもおもしろい。



<https://www.youtube.com/watch?v=M8cls-ltx0s>

計 41分

■ Art Pepper /アート・ペッパー (1925~82年)

アメリカのジャズのサクソ奏者。

1940年代よりスタン・ケントン楽団やベニー・カーター楽団で活動を開始する。1950年代には自己のコンボを結成し、ウエストコースト・ジャズの中心的な人物として活躍した。

■ Chet Baker /チェット・ベイカー (1929~88年)

ウエストコースト・ジャズの代表的トランペット奏者であり、ヴォーカリスト。

■ HAMPTON HAWES /ハンプトン ホーズ (1928~77)

ビバップやハード・バップのジャンルでも活躍。日本に米軍の一員として滞在中、モダン・ジャズ草創期の多くの日本人ジャズメンとも交流があった。

■ Gerry Mulligan /ジェリー・マリガン (1927年~96年)

アメリカ出身のサクソ奏者、作曲家、編曲家。ジャズ界では数少ないバリトン・サクソ奏者であり、ピアニストとしても知られた。

■ Bud Shank /バド・シャンク (1926~)

米国のアルトサクソ奏者、クラリネット奏者、ベース奏者。

■ Shelly Manne /シェリー・マン (1920年~84年)

アメリカのジャズ・ドラマー。

1953年から1962年まで、コンテンポラリー・レコードに多数の録音を残し、バーニー・ケッセル、レイ・ブラウンと結成したユニット、ポール・ウィナーズは評価が高い。

■ Paul Desmond /ポール・デズモンド (1924年~77年)

アメリカのジャズ・サクソ奏者、作曲家。ウエストコースト・ジャズを代表するミュージシャンの一人で、デイヴ・ブルーベック・カルテット在籍時に作曲した「テイク・ファイヴ」等で知られる。